

提案説明

【 市長提案説明 】

それでは、ただいま上程となりました議案第 108 号「令和 2 年度桑名市一般会計補正予算（第 10 号）」につきまして、ご説明申し上げます。

今回の一般会計補正予算（第 10 号）は、商工費の増額をお願いし、観光イベント・観光資源をより安全で集客力の高いものへと磨き上げるための実証事業を実施しようとするものでございます。

現在、国におきましては、訪日外国人旅行者 6,000 万人時代を見据え、幅広い国や地域から来訪する観光客を受け入れるための基盤整備に加え、今般のコロナ禍を受けて、“新しい生活様式”を取り入れた“新たな観光”を構築するための施策を進めているところでございます。

そこで、本市におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況にあっても、人々が安心・安全に観光ができるよう、“新しい生活様式”を取り入れた“新たな観光”について、その在り方を考え、感染防止対策の検証を重ねながら、そのスタイルを構築していくためのもので、ひいてはウィズコロナ時代における先進的な取組を“桑名モデル”として、全国に向けて発信するとともに、全国に先駆けて実現できるように、実証事業に取り組むための費用をお願いするものでございます。

なお、歳入につきましては、今般新設された観光庁の『誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成』実証事業」補助金を見込んだ国庫支出金でございますが、補助の採択が、当初予定されていた 8 月中旬から 9 月中旬にずれ込む中、速やかに実証事業を開始する必要もあることから、追加上程をお願いしたものでございます。

今回の“新たな観光”に向けての実証事業といたしましては、3つの事業に取り組んでまいります。

まず、第 1 の事業といたしましては、“全国産業観光フォーラムの開催”でございます。コロナ禍における“新しい生活様式”での会議の開催や視察の在り方について、検証を重ねながら進めてまいりたいと考えております。

第 2 の事業といたしましては、“企画体験型・市内周遊バスツアー”でございます。感染防止対策に万全を期し、桑名の“本物力”溢れる観光資源とコラボした“新しい生活様式を兼ね備えた体験型のバスツアー”を提供してまいりたいと考えております。

第 3 の事業といたしましては、“地域一体化誘客事業”でございます。この度、“桑名の観光の顔”である桑名駅が新しくなり、今後、駅前に観光案内所が整備されていくこととなります。そこで、桑名駅から住吉・七里の渡しエリアや寺町エリアへの導線をはじめ、“国内有数のレジャー施設”との連携など、人々の往来が進む、本当の意味での観光都市となるべく、実証事業を企画し、“新しい生活様式”に基づく万全な感染防止対策のもと、進めてまいりたいと考えております。この事業の実施にあたっては、市内の観光関係者等によるワークショップ等を開催し、話し合いを行いながら、地域の方々が自ら事業を実施していくような実証事業として進めてまいります。

今回の事業は、ただ単に人の往来を活発に進めるものではなく、現在のコロナ禍において“新しい生活様式”に基づく万全な感染防止の方策を考え、検証を行いながら“新しい観光”の在り方を構築していく

ための一体的な実証事業でございます。

現下の厳しい状況を傍観しているだけでは、感染症の影響によって、ますます桑名の観光は厳しい状況となります。今回の事業は、“桑名の観光が次のステージに向けて第一歩を踏み出すための取組である”と考えておりますので、議員の皆様方におかれましては、何卒、ご理解、ご協力をお願いしたいと思っております。

よろしくご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

注) 上記の提案説明及び報告は、実際の発言と異なる場合がありますので御了承願います。
(会議録が正式な発言記録となります。)